



# 今年も「うまかもん」ができました

## 12事業者が柳川産にこだわり新名物づくりにチャレンジ

### 12事業者が工夫を凝らし23品を試作

柳川ブランド推進協議会は、市の特産品を使った新しい名物づくり、「うまかもんづくりぐっちょ」を進めています。3回目を迎えた今年、材料は、あまおうと、ナス、赤貝（サルボウ）の3種類です。市内の飲食店や菓子店、パン屋、食品加工業者など12事業者が参加して、あまおうを使ったお菓子を中心にナスや赤貝を使った総菜など、全部で23種類の試作品が完成。10月30日に市内の飲食店で試作品発表会が行われました。

### 2月に販売促進キャンペーンも展開

発表会では一般の消費者やブランド推進協議会の委員、アドバイザーなどおよそ30人が参加。会場に並べられた試作品の見かけや味、値段、柳川らしさが出ているか、人にすすめられる商品になっているかなど9項目について、1品ずつ丁寧に審査しました。審査に参加した森田國子さん（八百屋町）は「どれも色合いがよくセンスがいいですね。味もとてもおいしいです。包装もきれいで柳川らしさも出ていると思います」と話しました。

審査の結果は、アドバイザーから参加事業者に個別に伝えられ、必要に応じて改良が加えられたうえで、各事業所で順次販売されます。商品の情報は「よかばんも〜柳川」のホームページ（<http://yokavanmou.com>）で紹介します。また来年2月からは、さげもんめぐりに合わせてスタンプラリーが行われる予定です。

問い合わせは、市柳川ブランド推進室（☎77・8722）まで。



【左】10月30日に行われた試作品発表会の様子。一般の消費者やブランド推進協議会委員らが、試作品を1品ずつ入念に審査した。【下】試作品発表会の後には、「うまかもんづくりぐっちょ」に参加した事業者と食品流通業者などで交流会も催された。



## YOKAVANMOU

トピックス

## おいでメッセ柳川が1周年

柳川の名産品を一堂に集めた、柳川ブランドショップ「おいでメッセ柳川」が12月に1周年を迎えます。皆さんの日ごろのご愛顧に感謝して同店では、12月1日（土）から3日（月）までの3日間、来店していただいた人に新

ノりをまいた焼きもちをプレゼントします。さらに期間中、同店で1000円以上の買い物をした人（先着30人）には、おまんじゅうをプレゼント。出品商品の試食会もあります。ぜひご来店ください。

【問】同店（☎72・9510）



## 12月1日(土)〜3日(月)は 焼きもちプレゼント

# 白秋祭 没後70年の節目に遺徳をしのぶ

## 童謡創作の地となった小田原からも市長の親書が届けられる



【左】新町水門前で行われた水上パレードの出発式に向かうどんこ舟  
【右】白秋献詩の文部科学大臣賞に輝いた作品を朗読する伊藤拓真君  
【下】加藤憲一市長から親書を託された西海子サロンの田中美代子実行委員長（写真右）



### 市民が岸辺からおもてなし水上パレード

柳川市が生んだ詩聖北原白秋。その命日である11月2日を中心に、遺徳をしのぶ催しが行われました。

1日から3日までは、水上パレードが行われ、ほうずきちょうちんとあんどんで飾ったどんこ舟80艘が、毎晩、川下りコースに繰り出しました。コース沿いの23か所には水上ステージやイルミネーション、ちょうちんで飾ったパネルなどを設置。市民らが歌や楽器の演奏、どろつくどんなどで、川下り客をもてなしました。川下り客は水辺で繰り広げられる幻想的な光景に、時折、歓声を上げるなどして楽しんでいました。

### 式典には300人が参列し白秋をしのぶ

2日には、白秋詩碑苑（矢留本町）で白秋祭式典が挙行されました。晩年の白秋が望郷の念をつづった詩「帰去来」が刻まれた詩碑の前には、白秋の写真が飾られ、国内外から寄せられた白秋献詩が供えられました。式典では白秋の母校、矢留小学校の児童代表、古賀雄大君（6年）が詩碑に花束を捧げ、金子市長が式辞を述べました。この後、市長をはじめ白秋会の大城昌平会長

らが、詩碑にひしゃくで日本酒を注ぐ献酒を行ったほか、文部科学大臣賞に輝いた愛知教育大学附属岡崎中学校3年の伊藤拓真君ら3人が、作品を詩碑に向かい朗読しました。沖端舟舞台の演奏や矢留小学校の5、6年生が白秋作詞の「砂山」と「この道」の合唱を披露。式典の最後には参列した約300人で「帰去来」を合唱し、白秋の業績をしのびました。

### 白秋記念館で小田原市長の親書贈呈式も

今年は白秋が亡くなり70周年ということもあり、神奈川県小田原市の加藤憲一市長から親書が届けられました。小田原市は白秋が大正7年から8年間住み、「からたちの花」や「この道」など多くの童謡を創作した場所です。親書は小田原文学館を拠点として、白秋の作品の朗読や童謡コンサートを行っている「西海子サロン」の田中美代子実行委員長に託され、白秋祭式典に先立ち白秋記念館で贈呈式が行われました。親書には「白秋を通じて両市の深い縁を感じる。ますます交流が深まることを願う」などと記されていました。親書を受け取った金子市長は、小田原市との友好を深めていきたいと歓迎の気持ちを表しました。